

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されており。	実際の活動に合わせたスペース配置や動線の見直しをおこない、より適切な環境となるよう配慮してまいります。
	2 利用定員がこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童1名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	児童が視覚的にもわかりやすいような環境作りを心掛けております。毎月、清掃と教材や玩具の消毒、故障等ないか確認をしながら、整理整頓をおこなっております。また、なるべく大きな物、高さがある物を教室に置かないようにしています。	トイレに段差がありますが、それ以外でも気づいた点は都度話し合い、改善をおこなっております。また、児童が移動する際には、職員が一掃に行動して、怪我のないよう安全に配慮してまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	6	0	それぞれの児童の活動に合わせた空間作りを心掛けております。毎日、清掃と教材や玩具の消毒、故障等ないか確認をしながら、整理整頓をおこなっております。また、なるべく大きな物、高さがある物を教室に置かないようにしています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	利用児童の様子に合わせて安心して過ごせる部屋や環境を整えております。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	6	0	その日勤務の職員が揃う時間に業務連絡、療育内容の確認など話し合いの場を確保しております。また定期的に会議を実施し、支援の改善点、療育の計画などすべての職員が情報を共有できるようにしております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	評価表を集計し、職員全体で向き合い、振り返りをおこなうことで業務改善に繋がっております。評価にあるご意見やご要望などについては、どう改善していくかを職員間で話し合い、内容を共有し取り組めるようにしております。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎朝ミーティングをおこない、当日の担当や役割分担について対応を確認しております。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	年間計画に沿った定期的な研修を実施し、職員の資質向上の機会を確保しております。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	公式Webサイトにて公表しております。	支援プログラムを作成し、令和7年度に向けた公表の準備をおこなっております。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	社内共通様式で標準化されたアセスメントツールを活用しております。ツールには児童の意思表示の方法や身辺自立の状況、言葉や文字、数への理解など細かく記載できるようになっております。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	児童発達支援管理責任者が作成した計画書を基に全職員で話し合い、支援をおこなっております。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	支援計画に基づく支援となるよう、会議にて活動内容を決定・実行しております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	社内共通様式で標準化されたアセスメントツールを活用しております。ツールには児童の意思表示の方法や身辺自立の状況、言葉や文字、数への理解など細かく記載できるようになっております。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域連携・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	児童発達支援管理責任者が中心となって児童の現状に合った支援計画を作成し、その都度見直しをおこなっております。また関係機関との連携を図り、児童の現状と今後の課題に沿った計画を作成しております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	ケース会議をおこない、児童一人ひとりの支援内容について意見を出し合ったうえで療育で取り組む課題をチームで設定しております。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	定期的におこなう固定プログラムのほか、季節の行事や児童の興味に配慮したプログラムも取り入れ楽しく意欲的に活動できるように工夫しております。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	個別療育で言葉の獲得や、気持ちの伝え方等、個々の課題の学びの場を持つようにし、集団活動の中でそれを活かす表現できるように見守っております。また職員が関わりの仲介に入って個別と集団を組み合わせられる工夫を随時おこなっております。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎朝ミーティングをおこない、当日の担当や役割分担について対応を確認しております。	
	21 支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	6	0	次の支援のために必要な振り返りに漏れないように「児童について」「保護者様について」「学校連携について」等、情報共有に努めております。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	支援に対する記録は、療育担当者が必ずおこない、切れ目のない支援に役立てております。記録はケース会議などで振り返り、今後の目標設定に活用しております。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	定期的にモニタリングをおこない、計画の見直しの必要性を判断しております。児童発達支援管理責任者が支援計画の見直しの時期を把握し、時期に合わせて、面談で聞き取りをおこない、次回の目標設定を検討しております。送迎時の保護者様との会話も、ご意見として参考させていただきま。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	個別療育で言葉の獲得や、気持ちの伝え方等個々の課題を取り組んでおります。小集団活動の中ではそれを活かす表現できるように見守っております。また職員が関わりの仲介に入って個別と集団を組み合わせられる工夫を随時おこなっております。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	6	0	児童が自己選択できるような支援の工夫、自己決定する力を育てるための支援をおこなうように日々取り組んでおります。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	5	1	対象児童について、事前に職員間で話し合い、現状把握をしながら児童発達支援管理責任者が担当者会議に参加しております。	児童の状況をより正確に共有できるよう、会議前の情報整理や職員間の連携方法をさらに工夫し、関係機関との協議がより円滑に行えるよう努めてまいります。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	現在は医療的ケアが必要な児童は在籍しておりませんが、主治医との連携はありますが、協力医療機関や障害福祉、保育、教育等の関係機関との連携は、ケース会議及び家族支援等によりおこなっております。	引き続き、個人情報に留意しながら連携をおこなってまいります。情報共有、共通理解に努め、丁寧な支援をしてまいります。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	保護者様を通じ、学校での様子や相談事などを学校と連携して相互理解を持つように努めております。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	保護者様のご承知のもと必要に応じて適切に情報共有をおこなっております。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	関係機関が集まり担当者会議をおこない、スムーズに移行できるように努めております。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1	児童発達支援管理責任者が中心となり関係機関との会議、研修に参加させていただいております。研修で学んだ情報については職員と共有し日々の支援に活かせるように努力しております。	今後も児童発達支援管理責任者が中心となり、関係機関との会議や研修で学んだ情報については職員と共有し、日々の支援に活かせるよう努力してまいります。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	殆どの児童は小学校や学童などで、個々に輪がいない児童との交流はできていると考えますが、感染症や社会情勢を鑑みながら検討しておりますが、事業所主催の交流の機会を企画できておりませんでした。	感染症や社会情勢等周囲の状況に留意しながら事業所について理解を深めていただくため、見学・話し合いなどを持つ機会があっても良いと考えていますが、保護者様の意向にも配慮し、慎重に検討してまいります。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5	協議会への参加機会を持つことができていません。	今後は感染症の状況に留意しながら積極的に関係機関との協議の機会を逃さず参加して助言を受け、密に連携が取れるように努めてまいります。
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	ご利用の度に、連絡帳に療育内容を記入してお伝えしております。また、送迎時に保護者様からののお悩みをお聞きしたり、事業所での様子や課題についてお話ししております。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	送迎などの機会に保護者様のお悩みやお困りごとをお聞きし、必要な助言や効果的な支援方法などをお伝えするよう努めております。また療育上必要でご家庭での協力が仰るものはご提案し、可能な範囲で取り組んでいただいております。	療育上必要でご家庭での協力が仰るものはご提案し、可能な範囲で取り組んでいただけるよう努めてまいります。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	連絡帳や来所時にご相談があった際には、児童発達支援管理責任者が中心となり職員間で共有し、送迎時や連絡帳のほか、できるだけ面談をおこない、保護者様のお悩みの解決に向けて尽力しております。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を確認し、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	契約時に運営規程、利用者負担等について丁寧な説明をしております。また、ご質問やご不明な点がないかなどを確認しながら進めてまいります。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	個別支援計画の作成時には保護者様とアセスメントをおこない、ご意向の確認やお困りごとについてお話をうかがっております。また児童には療育中自分の夢や希望を話せるように場の環境を設定しております。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対して適切に応じ、面談や必要な助言や支援を行っているか。	6	0	モニタリングをおこない、ガイドラインが示す支援内容を踏まえた支援計画を作成し、保護者様と読み合わせ、丁寧に説明をおこなうよう努めております。また、サイン、捺印をいただいております。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、感染症発生時や交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	感染症の広がりがりや社会情勢を踏まえ検討しておりますが、今年度は保護者会を開催できておりません。	開催については、周囲の状況に留意しながら保護者様のご意向を確認したうえで検討し、決定してまいります。
41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備することや、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	こちらからもお声掛けをおこない、保護者様からのご意見や申し入れがあった場合は適切に対応しております。また担当者や連絡が取りやすいように配慮し、ご意見は全職員と情報共有し、迅速な対応をおこなっております。		
42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	COMPASS 発達支援センターの公式Webサイトにて公開しております。		
43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付の書庫にて厳重に保管しております。		
44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	児童独自の意思表示方法などについては保護者様に教えていただき、確認しております。また、聴覚でわかりやすい声掛けや言葉だけでなく、身振りなどの視覚的支援を通して意思の疎通ができるよう心がけております。		
45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	感染症の予防、個人情報保護の観点から事業所の行事に地域住民を招待するような企画はできておりませんでした。	今後も利用児童の安全や感染症の状況に留意しながら地域への働きかけを検討してまいります。	
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各マニュアルは事業所入口に設置し、いつでも閲覧できるようにしております。防災訓練は今年度4回実施予定です。	各マニュアルの周知方法をさらに工夫してまいります。
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	非常時・99コール（安全）を常備し、防災演習、避難訓練を定期的に実施しております。定期的に非常時を想定した話し合いや、児童と一緒に避難訓練をおこなっております。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか。	6	0	服薬や、てんかん発作のある児童については必ず職員間で情報共有し、万が一のことがあった場合に備え、対処法を確認しております。	
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	事前にアセスメントシートを基に確認しております。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分な中で支援が行われているか。	6	0	安全計画を作成し、全職員の研修と定期的な訓練をおこなっております。	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	避難訓練は年間計画を立て、児童も参加しながら定期的に実施しております。訓練の状況は連絡帳のカレンダーを通じてご紹介しております。	
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	6	0	大きな事故を未然に防ぐという共通目的を意識し、小さなこどもでも気づいた点は記録に残し、全職員で共有しております。記録はファイリングし、過去の事例と合わせていつでも確認できるようにしております。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	事業所に虐待防止責任者を決定し、すべての職員が事業所内研修に参加することで、認識を深めております。	
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	利用契約書に原則として身体拘束の禁止を記載しておりますが、やむを得ず必要となる場合については、保護者様の承諾を得て支援計画に記載するようしております。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体でおこなった自己評価です。